

PAT-NO: JP02001120408A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001120408 A
TITLE: DISPLAY STAND
PUBN-DATE: May 8, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NOGUCHI, AKIOMI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NOGUCHI AKIOMI	N/A

APPL-NO: JP11307636

APPL-DATE: October 28, 1999

INT-CL (IPC): A47G007/02, A01G009/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a light-weight and highly safe display stand capable of disposing objects three-dimensionally and easily adjusting the attaching position of the objects for a support with a simple structure.

SOLUTION: This display stand, a flowerpot stand 1, has a base 3 for erecting a support member 2 and flowerpot holding members 4 for adjusting the flowerpot attaching positions for the support member 2. Each flowerpot holding member 4 has a flowerpot holder 43 at the top, and is fixed to the support member 2 utilizing its own weight on the flowerpot holder 43 side. The base 3 has a holding part 32 to attach the lower end of the support member 2 and a leg part 31 connected to the holding part 32. The leg part 31 comprises four

leg bodies

312 mounted in a radial manner. The holding part 32 is set at a position lower than the top of rising parts 314 of the leg bodies 312.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-120408

(P2001-120408A)

(43) 公開日 平成13年5月8日(2001.5.8)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テームコード(参考)

A 4 7 G 7/02

A 4 7 G 7/02

A 2 B 0 2 7

A 0 1 G 9/00

A 0 1 G 9/00

F

審査請求 未請求 請求項の数6 OL (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平11-307636

(22) 出願日 平成11年10月28日(1999. 10. 28)

(71) 出願人 599152290

野口 昭臣

福岡県筑後市熊野1643-1

(72) 発明者 野口 昭臣

福岡県筑後市熊野1643-1

(74) 代理人 100085327

弁理士 梶原 克彦

Fターム(参考) 2B027 ND01 NE01 TA04 TA08 TA10

TA11 TA19 TA27 TA30 TC04

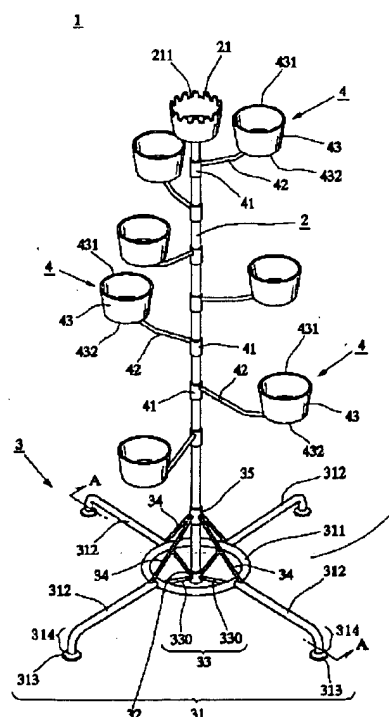
TC05 TC22

(54) 【発明の名称】 ディスプレースタンド

(57) 【要約】

【課題】物品を立体的に配置することができ、且つ、簡易な構造で支柱に対する物品の取付位置を簡単に調整することができ、しかも軽量で、安定性に優れたディスプレイスタンドを提供する。

【解決手段】ディスプレイスタンドである植木鉢スタンド1は、支柱部材2を立設するための土台3と、支柱部材2に対して取付位置を調整することができる鉢保持部材4とを有している。鉢保持部材4は、植木鉢を保持するための植木鉢ホルダ43を先端部に備えている。鉢保持部材4は、植木鉢ホルダ43側の自重を利用して支柱部材2に固定されている。土台3は、支柱部材2の下端部を取着するための保持部32と、保持部32と連結されている足部31を有している。足部31は、放射状に設けられた4本の足部本体312を有している。保持部32は、足部本体312の立ち上がり部分314の上端部よりも低い位置に設けてある。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 支柱部材(2)と、
上記支柱部材(2)を立設するための土台(3)と、
上記支柱部材(2)に対して取付位置を調整することがで
きる複数の物品保持部材(4)と、を含み、
上記物品保持部材(4)は、物品を保持する物品ホルダ(4
3)と、上記支柱部材(2)に沿って移動可能に嵌入られ
た取着部(41)とを備えているディスプレイスタンドであ
って、
上記物品ホルダ(43)側の重さによって物品保持部材(4)
の先端側が下がることによって、取着部(41)が支柱部材
(2)に対して傾き、取着部(41)の内周面(410)のうち、上
部の一方側と下部の他方側が支柱部材(2)に係止されて
物品保持部材(4)を固定するようにしてあることを特徴
とする、
ディスプレイスタンド。

【請求項2】 取着部(41)の内周面(410)のうち、少な
くとも上方部と下方部には滑り止め手段が設けてあるこ
とを特徴とする、

請求項1記載のディスプレイスタンド。

【請求項3】 土台(3)は、
支柱部材(2)の下端部を保持するための保持部(32)と、
当該保持部(32)と連結されている足部(31)と、を含んで
おり、
上記足部(31)は、放射状に形成されており、且つ、接地
部(313)から立ち上がっている部分(314)を有しており、
上記保持部(32)は、上記足部(31)の立ち上がり部分(31
4)の上端部よりも低い位置に設けてあることを特徴とす
る、

請求項1または2記載のディスプレイスタンド。

【請求項4】 土台(3)は、
支柱部材(2)の下端部を保持するための保持部(32)と、
当該保持部(32)と連結されている足部(31)と、を含んで
おり、
上記足部(31)は、
土台(3)の載置面(5)から所要の高さ位置に設けられた環
状体(311)と、
当該環状体(311)から放射状に設けられ、且つ、接地部
(313)から立ち上がっている部分(314)を有する足部本体
(312)と、
上記保持部(32)と上記足部本体(312)または上記保持部
(32)と上記環状体(311)とを連結するための連結部(33)
と、を有しており、
上記保持部(32)は、上記足部本体(312)の立ち上がり部
分(314)の上端部よりも低い位置に設けてあることを特
徴とする、請求項1または2記載のディスプレイスタン
ド。

【請求項5】 保持部(32)は、足部(31)の設置時に載置
面(5)の近傍に位置していることを特徴とする、
請求項3または4記載のディスプレイスタンド。

【請求項6】 足部(31)には、支柱部材(2)の下端部よ
りも上方部分を支えるための支持部が設けてあることを
特徴とする、

請求項3、4または5記載のディスプレイスタンド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えば植木鉢や雑
貨類などの物品を立体的に配置するためのディスプレー
スタンドに関し、更に詳しくは、簡易な構造で支柱に対
する物品の取付位置を簡単に調整することができ、しか
も軽量で、安定性に優れたものに関する。

【0002】

【従来技術】この種のディスプレイスタンドの構造とし
ては、円形の台座を有する支柱に、物品を保持するホル
ダを備えた物品保持部材を複数取り付けたものが一般的
である。物品保持部材は、支柱に対して上下方向への移
動と周方向への回動が可能であり、物品を保持するホル
ダの取付位置を適宜調整できるようになっている。ま
た、支柱を立設するための台座は、スタンド全体の安定
性を高めるため、鉄やコンクリートなどによってかなり
重く作られている。

【0003】上記したような構造により、ディスプレー
スタンドは、狭いスペースに様々な種類の植木鉢や雑貨
類などを立体的に配置することができ、視覚的な効果に
も優れている。したがって、一般家庭用に留まらず、花
屋や雑貨店などの店先に並べる装飾用のスタンドとして
も最適である。

【0004】ところで、従来のディスプレイスタンドで
は、支柱に対する物品保持部材の固定を次のようにして
行っていた。即ち、例えば実用新案登録第300264
1号公報には、支柱を押圧する止めネジによって物品保
持部材である鉢保持部材を固定するようにした植木鉢用
のディスプレイスタンドが開示されている。また、実開
昭62-36649号公報には、割り溝を有するカラー
を支柱に嵌合し、鉢保持部材の基端部に形成された筒状
の取付ボス部で上記カラーを絞って、鉢保持部材を固定
するようにした植木鉢用のディスプレイスタンドが開示
されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記し
たような従来のディスプレイスタンドでは次のような課
題があった。即ち、実用新案登録第3002641号公
報に記載されているディスプレイスタンドでは、鉢保持
部材の取付位置を調整するために、止めネジをその都度
緩める必要があり、非常に面倒であった。また、植木鉢
の重さで鉢保持部材が落下しないように、止めネジを外
す前には植木鉢を保持する植木鉢ホルダから植木鉢を取
り外しておく必要があった。

【0006】また、実開昭62-36649号公報に記
載されているディスプレイスタンドでは、鉢保持部材の

取付位置を調整するために、鉢保持部材を持ち上げて取付ボスとカラーの嵌合を緩め、その後、カラーの取付位置を変える必要があったので、非常に面倒であった。また、一方の手で鉢保持部材を持ち上げたまま、他方の手でカラーの取付位置を変えなければならなかったため、鉢保持部材に植木鉢を載せたまま取付位置を調整することは困難であった。

【0007】ところで、この種のディスプレイスタンドは、一つの植木鉢の位置を変えると、スタンド全体のバランスをとるため、他の植木鉢の位置も変える場合が多い。よって、植木鉢の位置を変えるために、上記のように、その都度植木鉢ホルダから植木鉢を外し、止めネジや取付ボスなどの締め付けを解除しなければならないことは、非常に面倒なことであった。

【0008】また、従来のディスプレイスタンドは、止めネジやカラーなどの締付具を使用していたので、止めネジが錆びたり、カラーが変形して取付ボスを嵌め入れることができなかつたりする等の不都合が起りやすかつた。

【0009】更に、上記したように、従来のディスプレイスタンドの台座は、スタンドの安定性を高めるために、重量をかなり重くして作られている。したがって、スタンド全体の重さは相当なものとなり、スタンドを持ち上げて別の設置場所に移動することは容易ではなかつた。特に花屋や雑貨店などでは、女性でも簡単に移動できるような、ディスプレイスタンドの軽量化が求められていた。

【0010】このスタンドの軽量化を図るため、支柱部材の下端部に下斜め方向に開脚した足部を等間隔に設ける方法もある。しかし、この方法では、台座を使用したスタンドに比べ重心が高くなってしまうので、スタンドの安定性が悪かつた。

【0011】(発明の目的)そこで本発明の目的は、簡易な構造で支柱に対する物品の取付位置を簡単に調整することができ、しかも軽量で、安定性に優れたディスプレイスタンドを提供することにある。

【0012】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために講じた本発明の手段は次のとおりである。第1の発明にあっては、支柱部材と、上記支柱部材を立設するための土台と、上記支柱部材に対して取付位置を調整することができる複数の物品保持部材と、を含み、上記物品保持部材は、物品を保持する物品ホルダと、上記支柱部材に沿って移動可能に嵌入せられた取着部とを備えているディスプレイスタンドであって、上記物品ホルダ側の重さによって物品保持部材の先端側が下がることによって、取着部が支柱部材に対して傾き、取着部の内周面のうち、上部の一方側と下部の他方側が支柱部材に係止されて物品保持部材を固定するようにしてあることを特徴とする、ディスプレイスタンドである。

【0013】第2の発明にあっては、取着部の内周面のうち、少なくとも上方部と下方部には滑り止め手段が設けられていることを特徴とする、第1の発明に係るディスプレイスタンドである。

【0014】第3の発明にあっては、土台は、支柱部材の下端部を保持するための保持部と、当該保持部と連結されている足部と、を含んでおり、上記足部は、放射状に形成されており、且つ、接地部から立ち上がっている部分を有しており、上記保持部は、上記足部の立ち上がり部分の上端部よりも低い位置に設けられていることを特徴とする、第1または第2の発明に係るディスプレイスタンドである。

【0015】第4の発明にあっては、土台は、支柱部材の下端部を保持するための保持部と、当該保持部と連結されている足部と、を含んでおり、上記足部は、土台の載置面から所要の高さ位置に設けられた環状体と、当該環状体から放射状に設けられ、且つ、接地部から立ち上がっている部分を有する足部本体と、上記保持部と上記足部本体または上記保持部と上記環状体とを連結するための連結部と、を有しており、上記保持部は、上記足部本体の立ち上がり部分の上端部よりも低い位置に設けられていることを特徴とする、第1または第2の発明に係るディスプレイスタンドである。

【0016】第5の発明にあっては、保持部は、足部の設置時に載置面の近傍に位置していることを特徴とする、第3または第4の発明に係るディスプレイスタンドである。

【0017】第6の発明にあっては、足部には、支柱部材の下端部よりも上方部分を支えるための支持部が設けられていることを特徴とする、第3、4または第5の発明に係るディスプレイスタンドである。

【0018】本明細書中にいう「物品」とは、ディスプレイの対象となるすべてのものを含む概念である。物品としては、例えば植木鉢、花瓶、雑貨、洋服、置物、その他の装飾品などが挙げられるが、上記したものに限定されない。本明細書中にいう「環状体」とは、円形や楕円形のものだけに限らず、例えば三角形、四角形、六角形、八角形、またはその他の多角形、あるいは不規則な形をしたものすべてを指す意味で使用している。本明細書中にいう「物品を保持する物品ホルダ」としては、例えば物品を載置するだけで保持することができるカップ状や皿状のもの、または物品を挿入して周方向から保持することができるリング状のもの、あるいは物品を引っかけて保持することができるフックを有するものなどが挙げられるが、上記したものに限定されない。

【0019】(作 用)本発明に係るディスプレイスタンドは、支柱部材に対して取付位置を調整することができる複数の物品保持部材を含んでおり、当該物品保持部材は、物品を保持する物品ホルダと、支柱部材に沿って移動可能に嵌入せられた取着部とを備えている。そし

て、物品ホルダ側の重さによって物品保持部材の先端側が下がることによって、取着部が支柱部材に対して傾き、取着部の内周面のうち、上部の一方側と下部の他方側が支柱部材に係止されて物品保持部材を固定するようにしてある。つまり、物品ホルダ側の自重を利用して物品保持部材を固定することができるので、簡易な構造でコストもかからず、従来のディスプレイスタンドのような締付具の不都合なども起こりにくい。なお、実際の使用時には物品ホルダに物品を載せるので、物品の重さも加わって取着部が支柱部材により強固に係止され、物品保持部材の固定力が増す。また、物品保持部材の先端側を上下させるだけで、物品保持部材を固定したり解除したりすることができるので、締付具を使って物品保持部材を固定するようにした従来のディスプレイスタンドに比べ、操作が簡単である。更に、上記したような締付具を使用しないので、締付具を締める作業がいらず、両手で物品保持部材を移動させることができる。したがって、物品が少々重たくても、物品ホルダに物品を載せたまま物品保持部材の位置を変更することができる。

【0020】取着部の内周面のうち、少なくとも上方部と下方部には滑り止め手段が設けてあるものでは、取着部が滑ることなく確実に支柱部材に係止される。また、物品保持部材から過って手が外れてしまっても、物品ホルダ側の重さで取着部が自動的に係止されるので、落下する心配がない。

【0021】土台が、支柱部材の下端部を保持するための保持部と、当該保持部と連結されている足部と、を含んでいるものでは、足部が放射状に形成されているので、例えば金属製のパイプやアルミニウム軽合金などの軽金属等によって足部を形成することにより、台座を有する従来のディスプレイスタンドに比べ、スタンド全体の重量を軽くすることができる。また、足部は接地部から立ち上がっている部分を有しており、保持部は足部の立ち上がり部分の上端部よりも低い位置に設けてあるので、支柱部材の下端部は足部の立ち上がり部分の上端部よりも低い位置にある。したがって、支柱部材の下端部に下斜め方向に開脚した足部を設けた従来のものに比べ、重心が下方に位置しており、且つ、支柱部材が倒れようとする力を足部の立ち上がり部分で保持して分散することができる。よって、本発明に係るディスプレイ

スタンドは、全体が軽量であるにもかかわらず、安定性に優れている。

【0022】土台が、支柱部材の下端部を保持するための保持部と、当該保持部と連結されている足部と、を含んでおり、上記足部が、土台の載置面から所要の高さ位置に設けられた環状体と、当該環状体から放射状に設けられ、且つ、接地部から立ち上がっている部分を有する足部本体と、を有しているものでは、足部本体を例えば金属製のパイプやアルミニウム軽合金などの軽金属等によって形成することにより、台座を有する従来のディス

プレイスタンドに比べ、スタンド全体の重量を軽くすることができる。また、足部本体は接地部から立ち上がっている部分を有しており、保持部は足部の立ち上がり部分の上端部よりも低い位置に設けてあるので、上記したディスプレイスタンドと同様に重心が下方に位置しており、全体が軽量であるにもかかわらず、安定性に優れている。更に、足部本体は環状体によって互いに連結されているので、支柱部材が傾こうとする力を環状体によって多方向に分散することができる。したがって、安定性に優れている。

【0023】保持部が、足部の設置時に載置面の近傍に位置しているものにあつては、支柱部材の下端部が構造的に最も低い位置にあるので、スタンドの重心がより下方側に位置しており、安定性に優れている。

【0024】支柱部材の下端部よりも上方部分を支えるための支持部が足部に設けてあるものでは、支柱部材の下端部の一箇所だけでなく、下端部と当該下端部よりも上方の位置の計二箇所支支柱部材を支えており、スタンドの安定性と強度を高めている。

【0025】

【発明の実施の形態】本発明を図面に示した実施の形態に基づき更に詳細に説明する。図1は本発明に係るディスプレイスタンドである植木鉢スタンドの実施の形態を示す説明図、図2は植木鉢ホルダを備えた鉢保持部材の取付構造を示す一部切欠断面図、図3は図1のA-A断面を示す説明図である。

【0026】符号1は、植木鉢を立体的に配置することのできる植木鉢用のディスプレイスタンド（本明細書では、「植木鉢スタンド」と略す場合がある）を示している。植木鉢スタンド1は、支柱部材2と、支柱部材2を立設するための土台3と、支柱部材2に対して取付位置を調整することができる複数の物品保持部材である鉢保持部材4とを有している。また、鉢保持部材4は、植木鉢を保持するための物品ホルダである植木鉢ホルダ43を先端部に備えている。

【0027】支柱部材2について説明する。支柱部材2は、金属製のパイプによって形成されている。また、支柱部材2の上端部には、合成樹脂によって形成されたカップ状の植木鉢ホルダ21が設けられている。この植木鉢ホルダ21の口縁部211は凹凸状に形成されており、あたかも洋風の城の見張り小塔をイメージさせるようなデザインとなっている。

【0028】次に、鉢保持部材4について説明する。鉢保持部材4の基端部には、支柱部材2に沿って移動可能に嵌入れられた取着部41が設けられている。取着部41は、図2に示すように、支柱部材2よりもやや径大な金属製の筒状体によって形成されている。また、取着部41の内周面410のうち、上部と下部には、滑り止め手段であるゴム製のリング411が溝部412に嵌め込んで設けられている。

【0029】また、取着部41には、棒状体である枝部42が設けられている。枝部42は、金属製のパイプによって形成されている。枝部42の先端側は、上方にやや傾斜して形成されている。

【0030】更に、枝部42の先端側には上記した植木鉢ホルダ43が設けられている。植木鉢ホルダ43は合成樹脂によって形成されている。枝部42の先端側は、植木鉢ホルダ43の底面部432に取り付けてある。植木鉢ホルダ43は、支柱部材2の上端部に設けられている植木鉢ホルダ21と同様に、カップ状に形成されている。ただし、植木鉢ホルダ43の口縁部431は、凹凸状に形成されていない。

【0031】次に、土台3について説明する。土台3は、支柱部材2の下端部を取着するための保持部32と、当該保持部32と連結されている足部31を有している。足部31は、土台3の載置面5から所要の高さ位置に設けられた環状体311と、当該環状体311から放射状に設けられた4本の足部本体312を有している。足部本体312は、互いに90°の角度をもって環状体311に取り付けられている。また、足部本体312は、プレート状に形成された接地部313から垂直に立ち上がり（立ち上がり部分を符号314で示している）、その後、環状体311に向かって水平に伸びて取り付けてある。なお、環状体311と足部本体312は、金属製のパイプによって形成されている。

【0032】また、保持部32と足部本体312は、連結部33によって連結されている。連結部33は、4本の金属製の連結棒330によって構成されている。連結棒330の基端部は、足部本体312の基端部の下部側に取り付けられている。そして、連結棒330は、足部本体312の基端部から支柱部材2の軸線上の下方に向かって設けられ、先端側で保持部32を連結するようになっている。更に、保持部32は、足部31の設置時に載置面5の近傍に位置している。なお、連結棒330の基端部を環状体311に取り付けるようにしても良い。

【0033】更に、足部本体312の基端部の上部側には、支柱部材2の下端部よりも上方の部分を支えるための4本の金属製の支持棒34が設けられている。支持棒34は、支柱部材2に取着された取着部35を介して支柱部材2を支えている。つまり、支柱部材2の下端部の一箇所だけでなく、下端部と当該下端部よりも上方の位置の計二箇所支柱部材2を支えており、スタンドの安定性と強度を高めている。

【0034】なお、本実施の形態において、支柱部材2はパイプによって形成されているが、中実である棒体によって形成することもできる。また、植木鉢スタンド1の安定性を高めるために、支柱部材2の下部の一部のみを中実にすることもできる。更に、支柱部材2を形成する材料は、金属に限定するものではなく、例えば、合成樹脂、木、あるいはそれらの組み合わせ等や、その他の

材料で形成することもできる。

【0035】また、本実施の形態において、取着部41、枝部42、足部3、及び支持棒34は金属によって形成されているが、これに限定するものではなく、例えば、合成樹脂、木、あるいはそれらの組み合わせ等や、その他の材料で形成することもできる。更に、本実施の形態において、植木鉢ホルダ43は合成樹脂によって形成されているが、これに限定するものではなく、例えば、木、金属あるいはそれらの組み合わせ等や、その他の材料で形成することもできる。

【0036】なお、植木鉢ホルダ21、鉢保持部材4、及び土台3は、支柱部材2から別々に取り外せるように形成されている。したがって、植木鉢スタンド1を使用しないときは分解してコンパクトに収納することができ、また持ち運びにも便利である。

【0037】（作 用）図面を参照して、植木鉢スタンド1の作用を説明する。まず、図2を参照して、支柱部材2に対する鉢保持部材4の取付構造を説明する。取着部41は、上記したように、支柱部材2よりもやや径大な金属製の筒状体によって形成されており、取着部41の内周面410のうち、上方部と下方部にはゴム製のリング411が溝部412に嵌め込んで設けられている。

【0038】そして、常態では、植木鉢ホルダ43及び枝部42の重さによって鉢保持部材4の先端側が下がり、取着部41が支柱部材2に対して枝部42側へ傾いている。そうして、取着部41の内周面410に設けられたリング411のうち、上部のリング411の一方側（矢印a部）と下部のリング411の他方側（矢印b部）が支柱部材2に係止されて鉢保持部材4を固定している。

【0039】また、実際の使用時には植木鉢ホルダ43に植木鉢を載せるので、植木鉢の重さも加わって取着部41が支柱部材2により強固に係止され、鉢保持部材4の固定力が増す。更に、鉢保持部材4の先端側を持ち上げて取着部41を支柱部材2と平行にすれば、リング411の係合が解除されて、鉢保持部材4を簡単に上下動させることができる。

【0040】以上説明したように、植木鉢スタンド1は、植木鉢ホルダ43側の自重を利用して鉢保持部材4を固定することができるので、簡易な構造でコストもかからず、従来の植木鉢スタンドのような締付具の不都合なども起こりにくい。また、鉢保持部材4の先端側を上下させるだけで、鉢保持部材4を固定したり解除したりすることができるので、締付具を使って鉢保持部材4を固定するようにした従来のディスプレイスタンドに比べ、操作が簡単である。更に、上記のような締付具を使用しないので、締付具を締める作業がいらず、両手で鉢保持部材4を移動させることができる。したがって、植木鉢が少々重たくても、植木鉢ホルダ43に植木鉢を載

せたまま鉢保持部材4の位置を変更することができる。

【0041】なお、本実施の形態では、筒状体によって
 取着部41を形成しているが、植木鉢ホルダ43側の自
 重を利用して鉢保持部材4を固定することができれば、
 取着部41の長手方向の長さは限定されず、長さの短い
 リング状の取着部を採用することもできる。

【0042】取着部41の内周面410のうち、少なく
 とも上方部と下方部にはゴム製のリング411が設け
 てあるので、取着部41が滑ることなく確実に支柱部材
 2に係止される。また、鉢保持部材4から過って手が外
 れてしまっても、植木鉢ホルダ43側の重さで取着部4
 1が自動的に係止されるので、落下する心配がない。

【0043】なお、取着部41の内周面410全体に、
 粗い凹凸面を有するゴム板を取り付け、支柱部材2に対
 する取着部41の摩擦抵抗を大きくして、取着部41の
 滑りを防止することもできる。

【0044】足部本体312及び環状体311は金属製
 のパイプによって形成されているので、台座を有する従
 来の植木鉢スタンドに比べ、スタンド全体の重量を軽く
 することができる。また、図3に示すように、支柱部材
 2の下端部は足部本体312の立ち上がり部分314の
 上端部よりも低く、しかも構造的に最も低い位置にあ
 る。したがって、支柱部材2の下端部に下斜め方向に開
 脚した足部を設けた従来のものに比べ、重心が下方に位
 置しており、且つ、支柱部材2が倒れようとする力を足
 部本体312の立ち上がり部分314で保持して分散す
 ることができる。よって、植木鉢スタンド1は、全体が
 軽量であるにもかかわらず、安定性に優れている。

【0045】また、足部本体312は環状体311によ
 って互いに連結されているので、支柱部材2が傾こうと
 する力を円形の環状体311によって多方向に分散す
 ることができる。したがって、安定性に優れている。

【0046】なお、本明細書で使用している用語と表現
 は、あくまで説明上のものであって限定的なものではな
 く、上記用語、表現と等価の用語、表現を除外するもの
 ではない。また、本発明は図示した実施の形態に限定さ
 れるものではなく、技術思想の範囲内において種々の変
 形が可能である。

【0047】

【発明の効果】本発明は上記構成を備え、次の効果を有
 する。

(a) 本発明に係るディスプレイスタンドは、支柱部材
 に対して取付位置を調整することができる複数の物品保
 持部材を含んでおり、当該物品保持部材は、物品を保持
 する物品ホルダと、支柱部材に沿って移動可能に嵌入れ
 られた取着部とを備えている。そして、物品ホルダ側の
 重さによって物品保持部材の先端側が下がることによ
 って、取着部が支柱部材に対して傾き、取着部の内周面
 のうち、上部の一方側と下部の他方側が支柱部材に係止
 されて物品保持部材を固定するようにしてある。つまり、

物品ホルダ側の自重を利用して物品保持部材を固定す
 ることができるので、簡易な構造でコストもかからず、従
 来のディスプレイスタンドのような締付具の不都合など
 も起こりにくい。なお、実際の使用時には物品ホルダに
 物品を載せるので、物品の重さも加わって取着部が支柱
 部材により強固に係止され、物品保持部材の固定力が増
 す。また、物品保持部材の先端側を上下させるだけで、
 物品保持部材を固定したり解除したりすることができる
 ので、締付具を使って物品保持部材を固定するようにし
 た従来のディスプレイスタンドに比べ、操作が簡単であ
 る。更に、上記したような締付具を使用しないので、締
 付具を締める作業がいらず、両手で物品保持部材を移動
 させることができる。したがって、物品が少々重たくて
 も、物品ホルダに物品を載せたまま物品保持部材の位置
 を変更することができる。

【0048】(b) 取着部の内周面のうち、少なくとも
 上方部と下方部には滑り止め手段が設けてあるもので
 は、取着部が滑ることなく確実に支柱部材に係止され
 る。また、物品保持部材から過って手が外れてしまっ
 ても、物品ホルダ側の重さで取着部が自動的に係止され
 るので、落下する心配がない。

【0049】(c) 土台が、支柱部材の下端部を保持す
 るための保持部と、当該保持部と連結されている足部
 と、を含んでいるものでは、足部が放射状に形成されて
 いるので、例えば金属製のパイプやアルミニウム軽合金
 などの軽金属等によって足部を形成することにより、台
 座を有する従来のディスプレイスタンドに比べ、スタン
 ド全体の重量を軽くすることができる。また、足部は接
 地部から立ち上がっている部分を有しており、保持部は
 足部の立ち上がり部分の上端部よりも低い位置に設けて
 あるので、支柱部材の下端部は足部の立ち上がり部分の
 上端部よりも低い位置にある。したがって、支柱部材の
 下端部に下斜め方向に開脚した足部を設けた従来のもの
 に比べ、重心が下方に位置しており、且つ、支柱部材が
 倒れようとする力を足部の立ち上がり部分で保持して分
 散することができる。よって、本発明に係るディスプレ
 イスタンドは、全体が軽量であるにもかかわらず、安定
 性に優れている。

【0050】(d) 土台が、支柱部材の下端部を保持す
 るための保持部と、当該保持部と連結されている足部
 と、を含んでおり、上記足部が、土台の載置面から所要
 の高さ位置に設けられた環状体と、当該環状体から放射
 状に設けられ、且つ、接地部から立ち上がっている部分
 を有する足部本体と、を有しているものでは、足部本体
 を例えば金属製のパイプやアルミニウム軽合金などの軽
 金属等によって形成することにより、台座を有する従来
 のディスプレイスタンドに比べ、スタンド全体の重量を
 軽くすることができる。また、足部本体は接地部から立
 ち上がっている部分を有しており、保持部は足部の立ち
 上がり部分の上端部よりも低い位置に設けてあるので、

上記したディスプレイスタンドと同様に重心が下方に位置しており、全体が軽量であるにもかかわらず、安定性に優れている。更に、足部本体は環状体によって互いに連結されているので、支柱部材が傾こうとする力を環状体によって多方向に分散することができる。したがって、安定性に優れている。

【0051】(e) 保持部が、足部の設置時に載置面の近傍に位置しているものにあつては、支柱部材の下端部が構造的に最も低い位置にあるので、スタンドの重心がより下方側に位置しており、安定性に優れている。

【0052】(f) 支柱部材の下端部よりも上方部分を支えるための支持部が足部に設けてあるものでは、支柱部材の下端部の一箇所だけでなく、下端部と当該下端部よりも上方の位置の計二箇所支柱部材を支えており、スタンドの安定性と強度を高めている。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る植木鉢スタンドの実施の形態を示す説明図である。

【図2】植木鉢ホルダを備えた鉢保持部材の取付構造を示す一部切欠断面図である。

【図3】図1のA-A断面を示す説明図である。

【符号の説明】

1 植木鉢スタンド

2 支柱部材

21 植木鉢ホルダ

211 口縁部

3 土台

31 足部

311 環状体

312 足部本体

313 接地部

32 取着部

10 33 連結部

330 連結棒

34 支持棒

35 取着部

4 鉢保持部材

41 取着部

410 内周面

411 Oリング

412 溝部

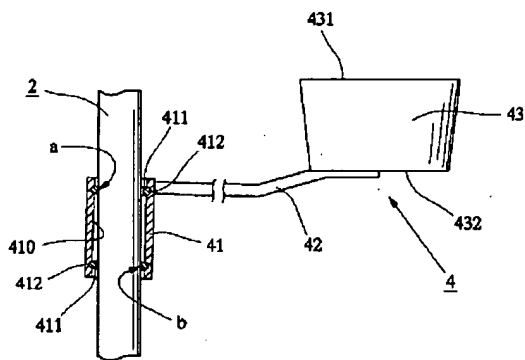
42 枝部

20 43 植木鉢ホルダ

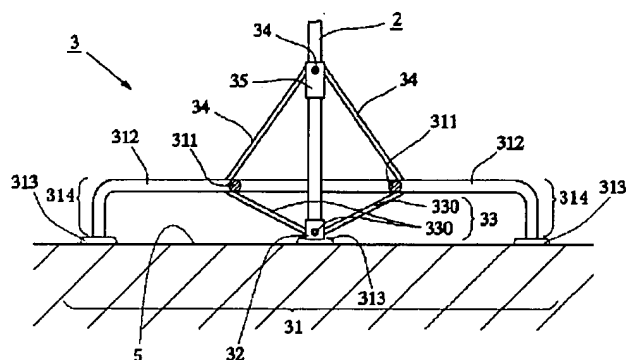
431 口縁部

432 底面部

【図2】



【図3】



【図1】

